

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—200069

⑤ Int. Cl.³

H 05 K 5/02

F 16 C 1/10

F 16 M 11/04

H 04 N 5/24

H 05 K 5/06

識別記号

庁内整理番号

6332—5F

7332—3J

6477—3G

7155—5C

6679—5F

④ 公開 昭和57年(1982)12月20日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 電子機器筐体の保持機構

東京芝浦電気株式会社日野工場
内

② 実 願 昭56—87980

② 出 願 昭56(1981)6月17日

⑦ 考 案 者 大社伸兆

日野市旭が丘3丁目1番地の1

① 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

川崎市幸区堀川町72番地

④ 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

⑮ 実用新案登録請求の範囲

(1) 電子機器筐体を雲台を介して回転自在に支承する電子機器筐体の保持構造において、前記電子機器筐体支承部に入出力ケーブルを内挿するパイプを植設するとともに、前記雲台を前記パイプの開口部を囲繞する一端開口した形状とし、前記パイプおよび雲台を介して入出力ケーブルを挿通したことを特徴とする電子機器筐体の保持機構。

(2) 雲台は半円筒状からなるとともに、前記パイプの開口部には前記雲台の内周壁に摺接するパッキンが配設されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の電子機器筐体の保持機構。

(3) 雲台は方形状からなるとともに、前記パイプの開口部には前記雲台の内周壁に摺接するパッキンが配設されたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の電子機器筐体の保持機構。

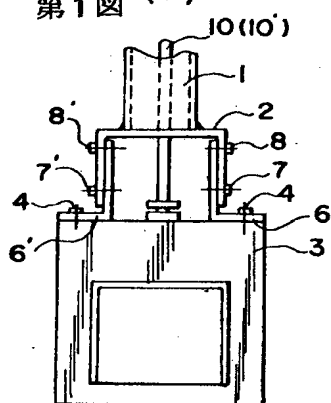
の保持機構。

図面の簡単な説明

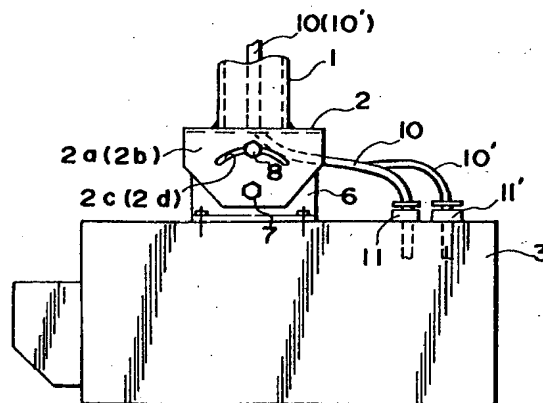
第1図 a, b は従来の電子機器筐体の保持装置を示す正面図、および側面図、第2図 a, b は本考案に係わる電子機器筐体の保持装置を示す正面図、および側面図、同図 c は同図 a の A—A 断面図、第3図は他の実施例を示す断面図である。

1, 22, 29……中空のパイプ、2, 23……雲台、3, 24……電子機器筐体、4, 7, 7', 8, 8', 26, 26', 27, 27', 28, 28'……ボルト、6, 6', 25, 25'……支持板、10, 10', 20, 21……ケーブル、11, 11'……防水パッキン、2c, 2d, 25a, 25'a……案内孔、30……パッキン。

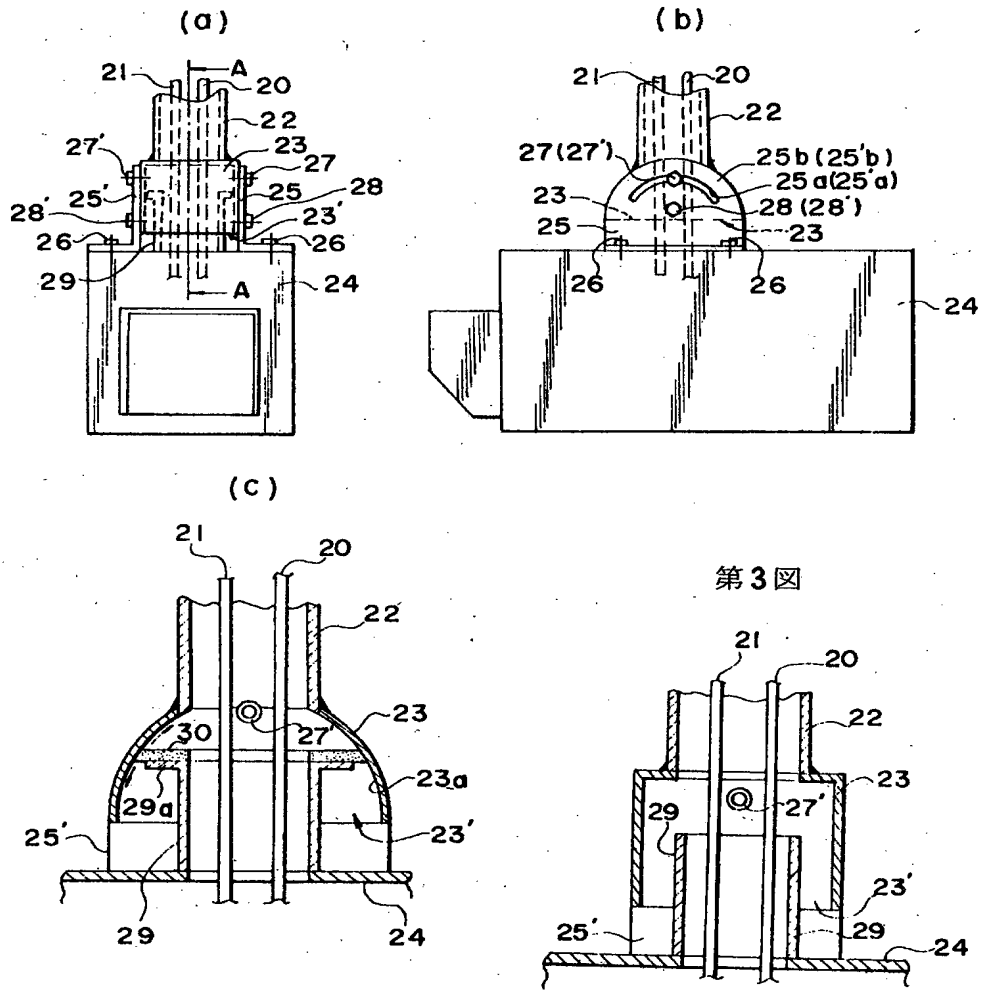
第1図 (a)



(b)



第2図



第3図

